

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】 特開 2006-19343 (P2006-19343A)
 【公開日】 平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-003
 【出願番号】 特願 2004-193086 (P2004-193086)
 【国際特許分類】

H O 1 L 27/146 (2006.01)

H O 4 N 5/335 (2006.01)

【F I】

H O 1 L 27/14 A

H O 4 N 5/335 E

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 2 9
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 9】

また、単一の画素 21 から外部の信号線 27_i、28_i、29_i および垂直読出し線 30_j に接続する線が 4 本であり、従来の CMOS 固体撮像素子（図 5 参照）における 5 本に比べて少なくなる。接続する線の低減に伴い、画素 21 から接続する線を通すスルーホール 18 も減らすことが可能である。したがって、これらの接続する線およびスルーホール 18 を画素 21 に形成する必要が無い場合、PD 22 が受光するための開口を広げることにより有利である。